

令和6年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

区 名 淀川区

学 校 名 新高小学校

学校長名 柴原 信彦

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和6年4月18日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・新高小学校では、第6学年 104名

令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

本校の平均正答率は、国語科が71ポイント、算数科が66ポイントであった。大阪市平均と比較すると、国語科が5ポイント、算数科が4ポイント上回った。全国平均と比較すると、国語が3.3ポイント、算数が2.7ポイント上回った。その結果より、国語・算数ともに学力の定着が図られていることが分かった。また、平均無解答率は、国語科が2.3ポイントで全国平均よりも1.9ポイント、大阪市平均よりも1ポイント、算数科が全国平均よりも0.2ポイント低く、大阪市平均と等しかった。学年全体の児童の傾向として、徐々に学習に対して粘り強く取り組む態度が身についてきていることが、分かる結果となった。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕昨年度は、「(1)言葉の特徴や使い方に関する事項」、「(2)情報の扱い方に関する事項」、「(3)我が国の言語文化に関する事項」、「A話すこと・聞くこと」、「C読むこと」のそれぞれの項目で、大阪市平均・全国平均を下回ったが、今年度は、全項目で、大阪市平均・全国平均を上回った。また、児童質問紙「国語の勉強は好きですか」、「国語の勉強は大切だと思いますか」、「国語の授業の内容はよく分かりますか」のそれぞれの項目において「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童の割合が全国平均・大阪市平均よりも上回っている。昨年度より、「学力向上支援チーム事業」において、国語科について、指導を受け、授業力の研鑽を重ねた成果と考える。

〔算数〕昨年度は、「A数と計算」、「B図形」のそれぞれの項目で、大阪市平均・全国平均を下回り、「C変化と関係」、「Dデータの活用」の項目で、全国平均を下回ったが、全項目で、大阪市平均・全国平均を上回った。ただ、児童質問紙「算数の勉強は好きですか」、「算数の勉強は大切だと思いますか」、「算数の授業の内容はよく分かりますか」の項目において、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童の割合が全国平均・大阪市平均よりも下回った。「主体的・対話的で深い学び」を実現する中で、引き続きペアやグループでの話し合い活動を推進し、学習意欲の向上につなげていきたい。

質問調査より

児童質問紙において、「自分には、良いところがあると思いますか」の項目において「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童の割合が今年度は、全国平均・大阪市平均よりも上回っている。「将来の夢や目標を持っている」の項目において「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童の割合が今年度は、全国平均・大阪市平均よりも上回っている。引き続き、将来就きたい仕事や夢について考えることができるキャリア教育の充実や教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に行っていく。「人が困っているときは、進んで助けていますか」の項目において「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童の割合が93%程で全国平均・大阪市平均程度であった。

今後の取組(アクションプラン)

校訓を「明るく正しくたくましく」とし、学校教育目標を「生きる力」を育む教育活動を推進する」としている。自尊感情を高められるように、ペア学習やグループ学習、縦割り活動において認め合える環境づくりを目指す。また、まずは、「個別最適の学び」や「協働的な学び」を実現させる。そのために、大阪市内外の研究会での実践を取り入れたり、学力向上推進に関する大阪市の施策を活用したりして授業を改善していく。今年度も、研究教科を「外国語」としているが、引き続き、昨年度までの成果を生かしながら、「学力向上支援チーム事業」のスクールアドバイザーによる教師力向上に向けた教員への指導により、更なる授業改善に努めていきたい。そして、朝の学習や自主学習、読書活動等を推進しながら、基礎・基本の充実に向けた取り組みを継続して行っていく。それに加えて、ICTやデジタルドリル、学習教材データ等をより一層活用していく。児童に関わる保護者や地域、幼稚園や中学校、関係機関等との連携も進めていく。

【 全体の概要 】

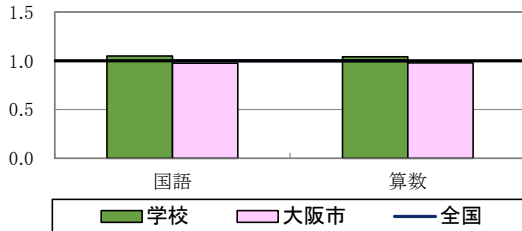
平均正答率（％）

	国語	算数
学校	71	66
大阪市	66	62
全国	67.7	63.4

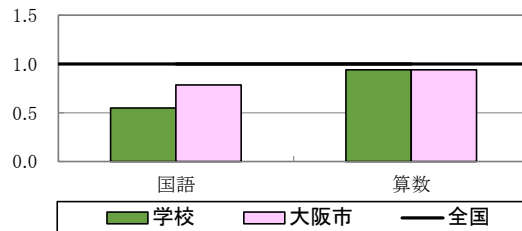
平均無解答率（％）

	国語	算数
学校	2.3	3.2
大阪市	3.3	3.2
全国	4.2	3.4

平均正答率(対全国比)



平均無解答率(対全国比)



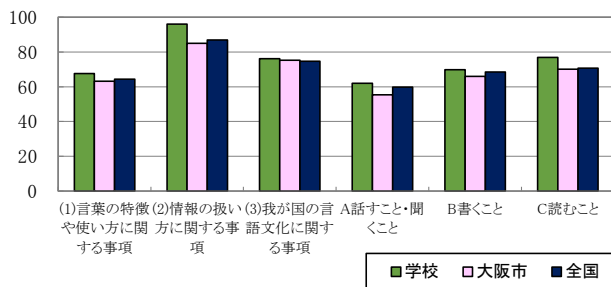
【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	4	67.6	63.1	64.4
(2)情報の扱い方に 関する事項	1	96.0	85.0	86.9
(3)我が国の言語文化に 関する事項	1	76.2	75.3	74.6
A 話すこと・聞くこと	3	62.0	55.3	59.8
B 書くこと	2	69.8	65.9	68.4
C 読むこと	3	76.9	70.1	70.7

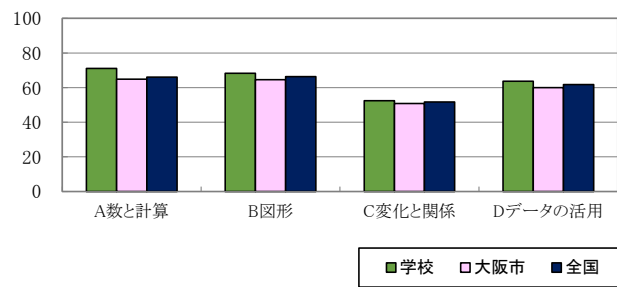
【 算 数 】

学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	6	71.0	64.8	66.0
B 図形	4	68.3	64.6	66.3
C 測定	0			
C 変化と関係	3	52.5	50.8	51.7
D データの活用	4	63.6	60.0	61.8

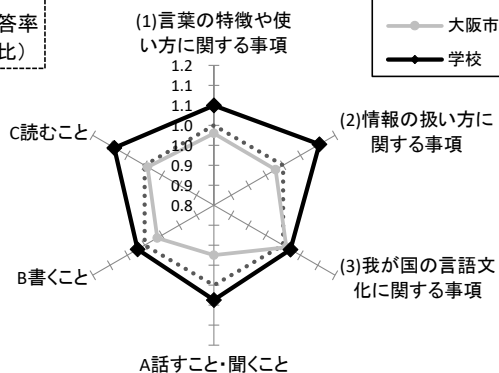
国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



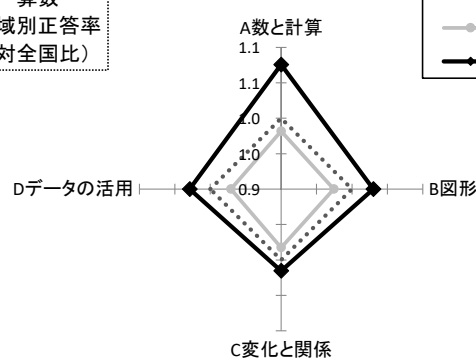
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語
内容別正答率
(対全国比)



算数
領域別正答率
(対全国比)



児童質問より

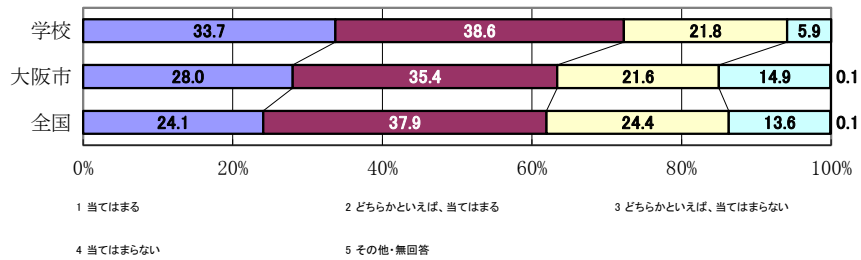
質問番号

質問事項

42

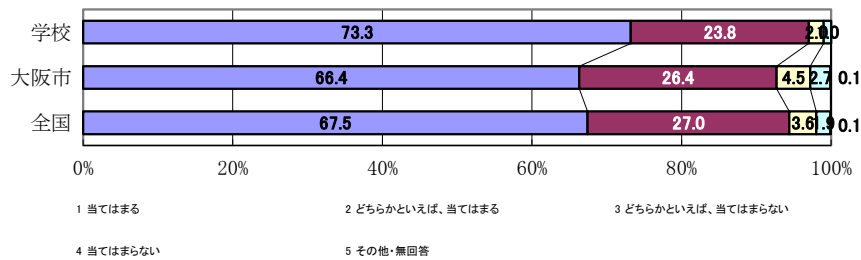
国語の勉強は好きですか

1 2 3 4 5 6 7 8



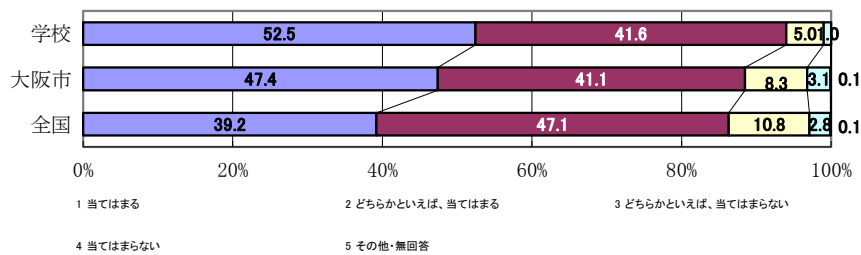
43

国語の勉強は大切だと思いますか



44

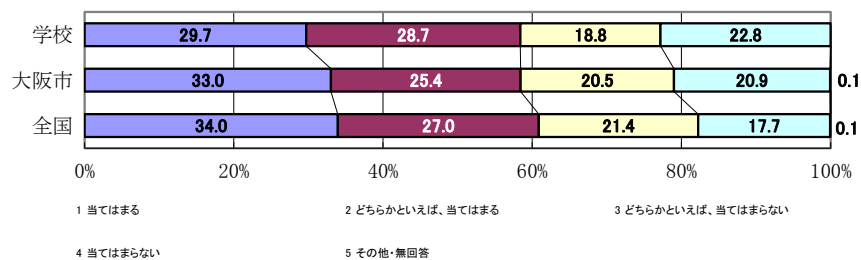
国語の授業の内容はよく分かりますか



・新高小学校では、第6学年 1

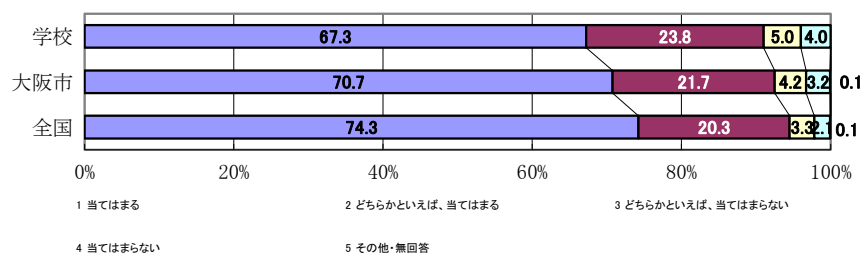
50

算数の勉強は好きですか



51

算数の勉強は大切だと思いますか



児童質問より

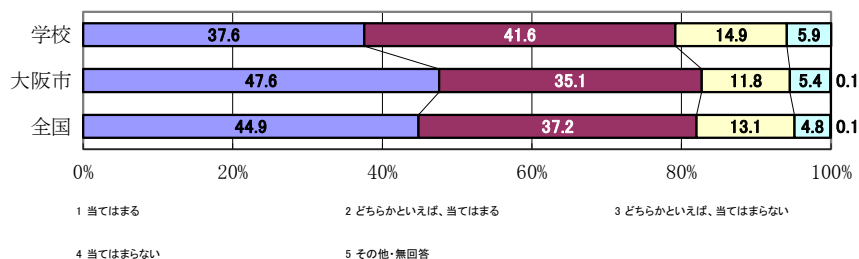
質問番号

質問事項

52

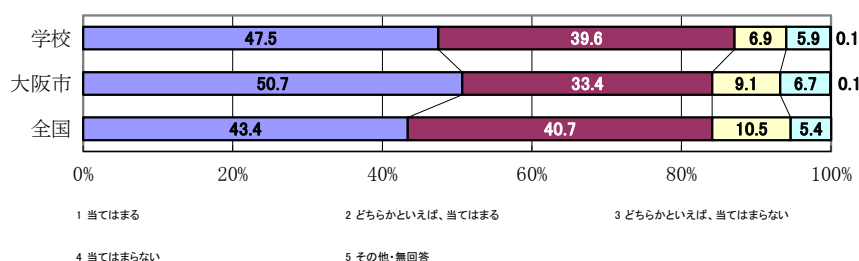
算数の授業の内容はよく分かりますか

1 2 3 4 5 6 7 8



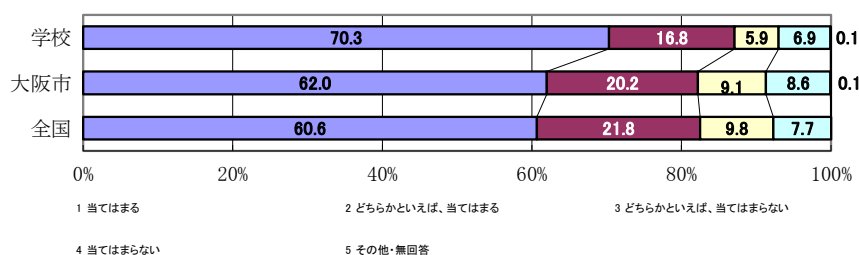
9

自分には、よいところがあると思いますか



11

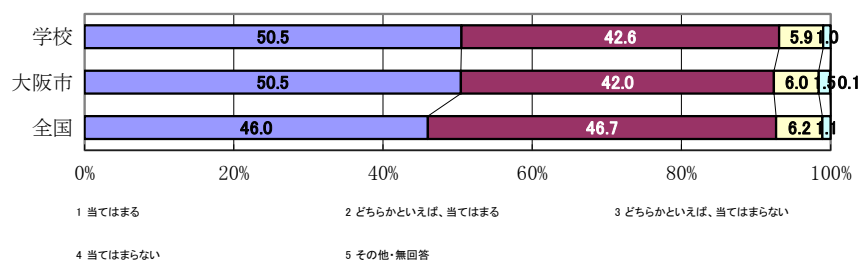
将来の夢や目標を持っていますか



・新高小学校では、第6学年 1

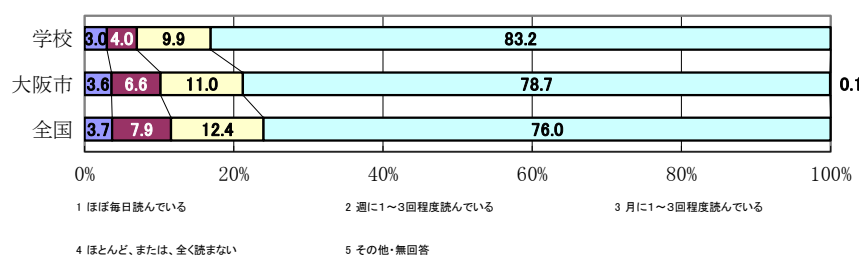
12

人が困っているときは、進んで助けていますか



24

新聞を読んでいますか



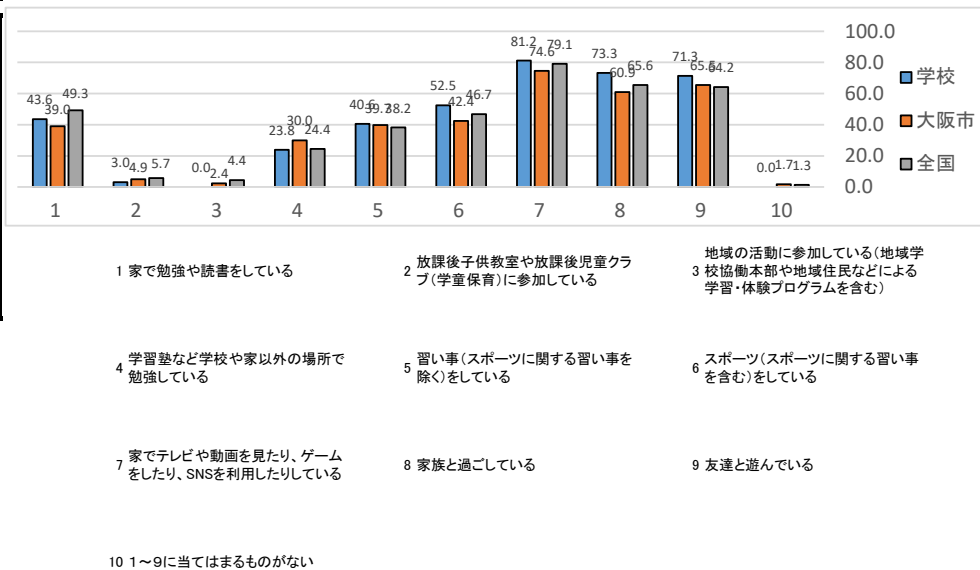
児童質問より(26)

質問番号

質問事項

26

放課後や週末に何を
過ごすことが多い
ですか
(複数選択)



学校質問より

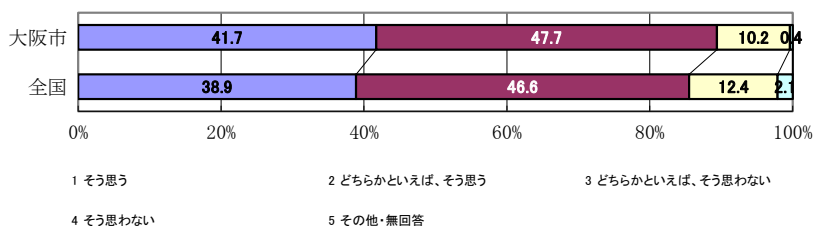
質問番号

質問事項

7

調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

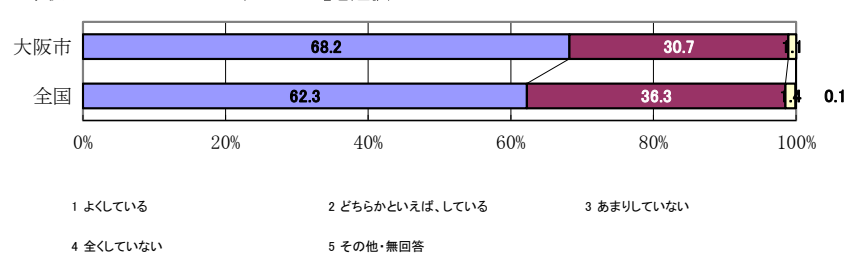
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



16

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

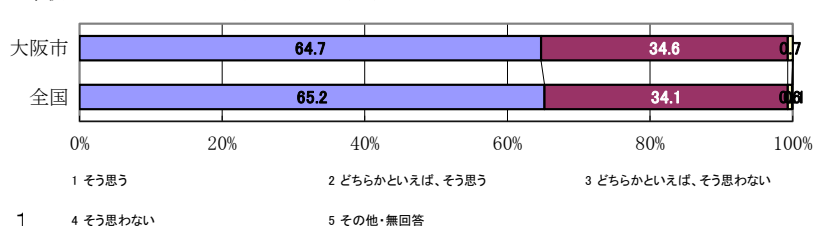
学校 「どちらかといえば、している」を選択



20

学校運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、改善に向けて学校として組織的に取り組んでいますか

学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択

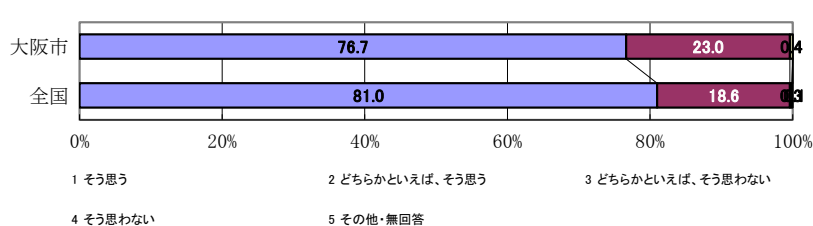


・新高小学校では、第6学年 1

21

各児童の様子を、担任や副担任だけでなく、可能な限り多くの教職員で見取り、情報交換をしていますか

学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



52

学校として外国語教育の充実に取り組む上で、必要な情報や研修、自己研鑽の機会等を十分に設けていますか

学校 「どちらかといえば、当てはまる」を選択

